

偶然にも観光できたアラブの国

ドバイ

「あなたが乗るブリュッセル行きの飛行機は、離陸しました。」と、東南アジアからベルギーへ戻る時のドバイでの乗継ぎで、飛行機から降りた途端にこう言われたのが、ショックでした。筆者が次の言葉を発する前に、地上係員が「翌日のフライトまでのホテル滞在、交通手段、昼食、夕食も付いて、全て航空会社持ちです、はい、これがホテル引換券と明日の搭乗券です。」と早口でまくしたてて、他に沢山いた同様の状況のお客さんに同じ説明を繰り返すのが忙しく、ホテルへの誘導もありませんでした。

利用したのはエミレーツ航空で、サービスやラウンジ、空港の施設は世界でもトップクラスではないでしょうか。今回は行きの乗り継ぎ時間は6時間、帰りは1時間しかなく、果たして荷物が乗り継ぎ便に乗るかどうか、と心配していましたら、人間が乗れなくなっていました…(東南アジアの空港での出発が遅れたのが原因です)。

ドバイに入国せざるを得ないから、パスポートコントロールではビザがどうのこうのと文句は言えないでしょう！と思いい、パスポートを提出。難なくハンコを押してもらって入国できました。日本のパスポートだと、無料の観光ビザで30日間は滞在できるそうです。

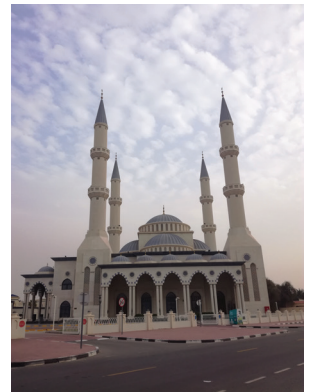


大勢の「乗り遅れた客」をミニバスに詰め込み、ホテルへ向かいました。これがビジネスクラスですと、一人一台のベンツでホテルまで連れて行ってくれます。エミレーツ航空のビジネスクラスは、ベルギーの自宅と空港の往復もベンツで送迎してくれるという、他の航空会社ではあまりないサービスをしています。

ホテルに到着しチェックインをしてすぐに、同じフロアにいたツアー会社の客引きにつかまりました。普段なら見向きもしないのですが、4時間41USドル(36ユーロ前後)という手軽さにひかれ、夕方5時からのツアーに参加することにしました。ドバイの空港自体やホテルはよく利用していましたが、ドバイの街を歩いたことは全くありませんでしたので。

4時半には、部屋にツアー会社から集合のための事前連絡電話が入ります。この時点で、このツアー (http://suntour-suae.com/four_night) は、信頼できるのではないかとわかってきて、それが正解だったのです！

ミニバスに20人くらいしかいないツアー客を乗せ、高速道路を抜け住宅街の方に入り、ブルーモスクと呼ばれる(www.alfarooqcentre.com/en) 礼拝堂へ。外観を見ただけですが、とても美しいモスクです。その後、高級住宅街を通りビーチに出ます。向こうに見えるのはBurj Al Arab Jumeirah。ドバイと言えばこのホテル、くらいに有名なヨットの帆の形をした海に突き出たホテルです。ビーチには観光客ばかりですが、側にある「ガゼボ」で憩っている白い服を来た人たちは、周辺のリッチな住民だそうです。



その次は、Saga World (www.sagaworldonline.com/home.aspx) という美術館のようなモールでした。買う買わないはともかく、超高級品ばかりで、こういう物を買っていく人がいるのかと、驚くと共に目の保養になります。大理石か象牙で作ったような輝くテーブルセットは、実はラクダの骨が原料だそうです。もしここを訪れて、その質問が出たら答えてみてください。私たち20人は誰も分らなかったくらいきれいな仕上がりでした。

Saga worldは写真撮影禁止でしたので、買い物をしない限りその姿は頭に残るのみです。

低層の建物が並ぶ街中をバスがゆきます。その沿道には、波の形をした高級ホテルJumeirah Beach Hotelが建築様式美を見せています。少し行くと、Wild Wadi Waterpark (www.jumeirah.com/en/hotels-resorts/dubai/wild-wadi) のアトラクションの一部が見えます。夏には40度以上になるドバイでは人気があるのでしょう。雨があまり降らないドバイでは80%の水を海水から調達、植物などに使う20%は再生水だそうです。

次にはもっとも有名であるヤシの形をした人工島・Palm Jumeirah (https://en.wikipedia.org/wiki/Palm_Jumeirah) を走りました。両側にそびえるアパート群の全ては豪華な造りです。今回はバスで通り抜けていますが、モノレールも通っていて街中のメトロとつながっているそうです。Palm Jumeirahの一番先には、超高級ホテルのAtlantis The Palm (www.atlantisthepalm.com) があります。上階中央の「The Royal Brigde Suite」は一泊16,405ユーロとサイトに出ていました。ガイドさんの話では、最低3泊しなければいけない、とのことでしたが、実際はどうなのでしょう。このホテルの安全性のために、島からホテルに行くまではホテルを避けるように海中トンネルが掘られたそうです。ホテルの開店の日には盛大な花火があげられ、1分100万USドルをかけたとか。何から何まで桁違いなドバイです。



このあたりで日が沈み始めました。出発からすでに2時間はたっています。東南アジアからの長いフライトの後、飛行機を逃して着いた宿からこのツアーに参加、という個人的には強行軍なので、もう疲れ切っていました。まだ2時間もあります。「この次は何処？まだ？」と思わず、子どものように聞いてしまいましたが、答えは「世界最大のショッピングセンターで噴水ショーを見る」と。それが、ダウNTOWNにあるDubai Mallです。1,000以上の店舗が入っているとのこと、とにかく広大、どこにそんなに人がいたのかというくらいの人混みです。噴水ショーは18時から23時まで30分ごとにあるそうで、19時半から始まりました。ミッションインポッシブルの爆音に合わせ、噴水が回ったり、大きくなったり、小さくなったり、そばの160階建のビルBurj Khalifa (www.burjkhalifa.ae/en) も色や文字が変わります。ディズニーランドのショーのようなものを期待していたので、15分くらいでふっと消えた時には「え？これで終わり？」という感がありました。噴水を見るのにも人だかりがすごいです。ボート乗り場の周りにはなぜか人が少なく、誰かの肩越しでなく見ることができましたので、もしかしたらここがお勧めな場所かもしれません。



最後の1時間はマーケット(市場)巡りでした。港が見えてきて、古ぼけた、しかし、現在も活躍している漁船や小型の商船が並んでいます。今までとは全く違う風景です。

時差ボケもある疲れた体にむち打ってバスから降りたら、そこには、色とりどりのスパイスなどを売る店がひしめいていました。青空市場ではなく極小の商店の集まりで、そういう場所が大好きな筆者は、突然目が覚めました！美しい布や服の数々。立ち止まることができないツアーでなかったら、相当量の買い物をしていたでしょう。

そして、クライマックスが、金の装飾品の店！300店はあるそうです。ショーウィンドーに並ぶ豪華な品は、物語・アラビアンナイトを超えるものすごいです。バスから降りる前にガイドさんが我々に尋ねたのが、「装飾品を買いいたい人いますか？…いないのでしたら、逆方向から市場に入ります。」とのことでした。たぶん表門が金の店頭群なのでしょう。



一緒にいた20人のツアー客は、皆さん非常にマナーが良く、各自離れることもせず、全く買い物もせず、出発してから4時間後に、ホテルへ到着したのです。

ドバイへ行かれた場合は、このようなツアーに入って土地勘をつかみ、その後、または次回に、自分で観光してみるとよいのではないのでしょうか。

個人的な感覚で一概には言えませんが、聞くところによると、タクシーもあまり高くないとのこと。ホテルも他国に比べ部屋も広いようですが、これはもちろん、ピンからキリまであります。

ベルギーからはEmirates Airlineの直行便で5~6時間。インターネットのサイトもとても使いやすく、行き帰りのクラスが別々に選べたりします(例えば行きがビジネスで帰りがエコノミークラス)。ドバイへ入る便のビジネスクラスでは、持ち帰りのアニメティはブルガリの商品です。ベルギーに入る時にはもらえません。ファーストクラスは、ドアが付いた個室で個人用の冷蔵庫もあります。日本からは遠いドバイですが、ベルギーからですと近いので、欧州に滞在される間に、超リッチな世界を垣間見るのも面白い体験になるかもしれません。

